

出題の意図（各科目の出題の意図）

英語：

「英語を使って考える」「英語でコミュニケーションする」ことを確認するため、語彙・文法、会話文理解、文脈補完、英文の読解からなる問題構成としています。語彙・文法の運用力（空欄補充）、論理的思考力・推論力（前後の文脈から論理的に最適な選択肢を導く）、読解力（文章全体の主旨を把握し、情報を整理する）など文法や語彙の知識、会話や文章の流れを理解する力、情報を読み取って考える力が求められます。

数学：

基本的な計算・解法スキル（不等式、因数分解、関数の最大・最小、三角関数など）と、応用的な思考力（図形のベクトル表現、関数のグラフ解析、確率など）を組み合わせで出題し、基礎力と応用力の両立を問います。計算力（式変形、因数分解、微分積分などの正確な処理能力）、論理的思考力（問題文の条件整理、場合分け、証明的な構成力）、図形的直感力（ベクトル・面積・交点などの空間的理解）、関数の理解力（グラフの形状、増減、最大・最小、接線などの解析力）、確率的思考力（組み合わせ、条件付き確率、期待値などの理解）などが求められます。

国語：

出題範囲は、現代の国語、言語文化、論理国語（古文・漢文を除く）です。問題は、長文読解形式の大問二問により構成し、文章の内容を読み取り、論理的に考え、適切に表現する力を問うものとしています。筆者の主張や論理展開の把握、文章の構造や文脈に基づいた適切な語句選択、語彙の意味理解、漢字の知識など言語を正確かつ適切に使う力などが求められます。

生物：

自然の事物や現象に主体的に関心を持ち、探究的に学ぶ力を育てているかを確認する問題構成としています。DNA や細胞、代謝などの基本概念を体系的に理解し、論理的思考力や科学的な見方を養うことが求められます。知識の正確さ（ATP、酵素、ホルモンなどの基本語彙の理解）、論理的思考力（因果関係や構造理解）、応用力（実生活や社会問題との関連）、探究的視点（実験・観察・仮説検証を通じた科学的思考）などが求められます。

化学：

「思考力・判断力・表現力の育成」「科学的リテラシーの向上」を意図し、単なる知識の暗記ではなく、実験結果の考察や誤りの指摘など、理解力と判断力を確認する問題構成としています。基礎知識の正確な理解（元素、化学式、反応の種類など）、実験・観察に基づく考察力（実験の手順や結果から、反応の本質や誤りを見抜く力など）、計算力と論理的思考力（モル計算、反応量、pH 計算など）、視覚情報の読み取り力（図、グラフ、化学式などから必要な情報を読み取る力）などが求められます。

小論文：

課題文（生物関連分野の文章）を読んで、指定の文字数で解答する形式で出題します。読解力（与えられた文章の主旨を理解する）、論理的思考力（問いに対して筋道立てて理由を述べる）、表現力（限られた文字数で明確かつ説得力のある文章を書く）などが求められます。

総合問題：

図表や文章資料を読み取り、それを根拠として自分の意見を指定の文字数で解答する形式で出題します。知識の活用だけでなく、自分の考えを持ち、それを根拠とともに表現する力が求められます。